

常設の女性活躍相談の実施(女性活躍推進事業)【芦屋市】

総事業費	3,717千円
交付金額	1,858千円

地域の実情と課題

平成27年の国勢調査では、市内の30歳代以降の女性の労働力率が全国や県と比べ低い水準にあり、また市内の共働き世帯数が、夫が就業者で妻が非就業者の世帯数を上回り、今後も働くことを希望する女性はより増えることが見込まれる。平成28年実施の男女共同参画に関する市民意識調査では、現在未就労の30歳代から40歳代の女性の就労意向率が高くなっており、希望に応じた働き方が実現できることや、能力が十分に発揮できる環境の整備が課題であった。

目的・目標

女性活躍相談の相談件数は、目標を35件以上としていたが、30人であり、目標には到達しなかったが、昨年度よりは増加した。また、相談者のうち、再就労・起業等につながった人数は、1人以上を目標としており、起業準備中を含めて複数人で目標達成となった。

事業の特徴

女性活躍コーディネーターによる常設の再就労・起業等の相談窓口を、身近な市の男女共同参画センターに一時保育付きで設置している。相談窓口の周知拡大のため、「女性のためのステップ相談」という愛称をつけた。

連携団体

ひょうご仕事と生活センターや各種相談事業を実施している団体のほか、芦屋市商工会や女性活躍推進会議の委員所属先、芦屋市男女共同参画団体協議会と連携。兵庫県立男女共同参画センターと共催で「女性のための出前チャレンジ相談」を実施した。相談内容によりハローワーク西宮を紹介し、連携して相談内容の解決に努めた。

事業の効果

身近な市の男女共同参画センターに一時保育付きの相談窓口を開設することで、希望する女性が気軽に利用いただけるよう「女性のためのステップ相談」という愛称で事業周知に取り組んだところ、相談件数は、目標(35件以上)には達しなかった(30件)が、昨年度(25件)よりは増加した。

今後の課題

女性活躍コーディネーターによる常設の女性のためのステップ相談(女性活躍相談)は、昨年度より相談件数は増加しているが、それでもまだ少ないため、更なる周知等が必要である。

事業の概要

市の他事業

- ・男女共同参画センター
- ・子育て施策 など

職業生活
で活躍を
望む女性

男性

- ・相談
(再就労, 起業など)
- ・講座参加

- ・情報提供
- ・同行支援 など

- ・講座参加

- ・情報提供
- ・家事や育児などに関わる機会の増加

市の女性活躍推進事業
(業務委託)

ASHIYA
RESUME

市の女性活躍推進事業
(直営)

女性のための
ステップ相談
(女性活躍相談)

各種講座

男性向け講座

- ・事業評価

女性活躍推進会議

※学識経験者, 団体代表
就業・起業支援者, 行政関係者

- ・講師依頼
- ・事業連携依頼

- ・講師派遣
- ・事業連携

- ・講師派遣依頼
- ・事業連携依頼

- ・講師派遣
- ・事業連携

民間

芦屋市商工会
女性起業家
市内コワーキング
スペース など

国や県

ハローワーク西宮
日本政策金融公庫
兵庫県立男女共同
参画センター など

- ・会議への参画
- ・情報共有